

## 環境アセスメント学会・口頭発表募集のお知らせ

2014 年度第 13 回研究発表会（2014 年 9 月 20 日（土）～21 日、千葉大学西千葉キャンパス）の研究発表について下記の要領で募集します。申込書は別紙のとおりです。大会を充実させるためにも、知り合いの方にお声がけの上、奮ってご参加ください。

### ◆ 応募方法

本資料の口頭発表申込書に記入し、E-mail の添付ファイル、郵送または FAX で、下記の **2014 年度環境アセスメント学会第 13 回大会実行委員会事務局**までご送付下さい。

- 発表申込みの締め切りは、**2014 年 7 月 22 日（火）まで**です。

採択の可否を速やかに連絡いたします。

- 発表原稿の締め切りは、**2014 年 8 月 29 日（金）必着**です。

提出後の修正はできません。この際に、大会参加申込書も併せてお送りください。

なお、発表原稿の執筆規定については、添付の「2014 年度環境アセスメント学会研究発表用執筆要綱」をご参照下さい。

### ◆ 応募資格

発表原稿提出時に、著者のうち **1 名は会員**であること。

### ◆ 大会発表応募先

2014 年度環境アセスメント学会第 13 回大会実行委員会事務局 宛て

千葉大学公共研究センター 担当：倉阪秀史、中塚康子

住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学公共研究センター

電話：043-290-2337 FAX：043-290-2337 E-mail：jsia2014chiba@gmail.com

# 2014年度環境アセスメント学会第13回大会

## 口頭発表申込書 (締切:2014年7月22日(火))

大会事務局記入欄

申し込み年月日		年	月	日
ふりがな 発表者(連名者) 会員に○を付してください。				
所属・役職等				
発表者の連絡先	〒			
	TEL:	FAX:		
	E-mail:			
口頭発表タイトル				
分野(該当箇所 に○、複数分野も可)	政策・制度 参加学習 自然生態系 生活環境 予測手法 放射能 震災 環境管理			
要旨 (200字以内)				
※以下は必要に応じてご記入ください				
会員種別 *該当する会員種を○で 囲んでください。	正会員・学生会員・公益会員・賛助会員		会員番号: (わかれば)	
その他連絡事項等				

必要事項をご記入の上、2014年7月22日(火)までに下記宛にE-mail(もしくは、郵送またはFAX)でお送り下さい。

また、大会参加申込書も8月29日(金)までに別途送付ください。

大会申し込み受付: 2014年度環境アセスメント学会 第13回大会実行委員会事務局

千葉大学公共研究センター 担当: 倉阪秀史、中塚康子

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学公共研究センター

電話: 043-290-2337 FAX: 043-290-2337 E-mail: jsia2014chiba@gmail.com

# 2014 年度環境アセスメント学会研究発表用執筆要綱

Guidelines of Research Papers for 2014 Annual Conference of Japan Society for Impact Assessment

環境太郎\*, 環境花子\*\*

Taro KANKYO, Hanako KANKYO

## Abstract

This Guideline is important when you write the paper for 2014 Annual Conference of Japan Society for Impact Assessment. So, you must check this Guideline carefully.

「キーワード:環境, アセスメント, 学会(3~5 個程度)」

「keywords: Environment, Assessment, Society(3~5words)」

## 1. 原稿の書き方

### 1. 1 体裁

#### a) 原稿分量

A4 版上質紙を縦長に使用し、上下左右の余白を各 25mm として印字する。1 頁当たり 22 字×45 行×2 段 = 1980 字とし、図表等も含めて 6 頁以内とする。

#### b) タイトル, 氏名

1 頁目の上部 5 行程度に和文タイトル、英文タイトル、和文執筆者氏名、英文執筆者氏名を記入する。なお、執筆者の所属については「\*」を使用し、同頁下 2 行程度に詳細を記入する。

#### c) Abstract, 要旨

論文の概要を、和文の本論では英文 100 ~ 120words 程度、英文の本論では和文 400 字程度で説明する。

#### d) キーワード

概要の後に、論文内容を的確に表現するキーワードを 3~5 個程度記入する。

#### e) 言語

冒頭のタイトル、氏名、キーワードはそれぞれ日本語と英語で書く。原稿は和文又は英文で作成する。

#### f) 印刷

原稿は A4 版がそのままの大きさを印刷される。

#### g) 章, 節, 項

章、節、項の見出しは、次のように統一する。

章: 1、2、3、…

節: 1. 1、1. 2、1. 3、…

項: a)、b)、c)、…

これ以外の小項目はなるべく避ける。また、各章の前後 1 行と各節の直前 1 行はあける。

### 1. 2 活字

#### a) 手書き不可

数式、図表中の文字等の手書きも原則として認めない。

#### b) フォント

フォントは、基本として次のように統一する。

活字サイズ: 10 ポイント

和文: MS 明朝体

英文・英数字・記号: Times New Roman 体

表題、見出し、図表等: MS ゴシック体

## 2. 補注, 参考・引用文献

### 2. 1 補注

補注を必要とする場合は「<sup>(1)</sup>, <sup>(2)</sup>, <sup>(3)</sup>, …<sup>(n)</sup>」の記号で本文該当箇所右肩に示し、参考・引用文献の前に一括掲載する。

### 2. 2 引用文献

引用文献は本文中で引用したものにとどめ、アルファベット順に次の例を参考にして一括掲載する。

雑誌中の論文: 著者名(発行年)“論文名.”掲載雑誌名 掲載巻(号), 掲載頁最初-最後.

単行本: 著者名(発行年)書名. 出版社名, 出版社所在地, 総頁数.

※※※ 送付原稿は可能な限り PDF ファイルで作成してください。

\* 環境大学大学院環境アセスメント研究科

\*\* 環境大学環境アセスメント学部